

こうずい

いのち

# 洪水から命をまもるために

～富山市洪水ハザードマップ～



## 目次

■ はじめに …………… 1	■ 洪水を知って避難しよう …… 11-12
■ あなたの避難は？ …………… 2	■ 地形を知って避難しよう …… 13
■ 洪水ハザードマップを知ろう… 3-6	■ 避難するときの心得………… 14
■ どう避難する？…………… 7-8	■ 備えましょう …………… 15-16
■ いつ避難する？ …………… 9-10	■ 地域をまもろう…………… 17

## はじめに

イメージしてみてください。第一歩は、『我が事』として捉えることから始まります

深夜から降り続く雨が勢いを増し、普段穏やかで見慣れているあの川が荒々しく姿を変え、見たことのない川幅となって山肌から削られた樹木を押し流しています。やがて、耐え切れなくなった堤防が決壊！河川がはん濫！土砂混じりの濁流が、わたしたちの街へ押し寄せてきます。

そんな事態に直面したとき、あなたはどの行動をしますか？

身の危険が迫る状況に適切に対応するためには、リスクを知り、どのように避難すべきかを平時から考えて備えておく必要があります。

近年、全国各地で毎年のように発生している大雨による被害、いつ我が街で起こるか分かりません。あなたとあなたにとって大切な人の命をまもるために、ぜひこの冊子を見て考えてください。

神通川（神通大橋付近）の状況  
平成16年台風23号ピーク時



平常時



富山河川国道事務所提供

# あなたの避難は？

## 洪水ハザードマップを見てください (裏表紙の内側ポケットに入っています)

このページでは、避難行動を想定しておくためにマップを見るポイントを簡潔に示します。

あなたの場合はどう行動すべきか、確認しましょう。



あなたの避難は？

### ステップ1

## 自宅等の周辺に浸水のおそれがありますか。

- ・地区詳細図では、2種類の洪水による浸水を想定し、それぞれ浸水が想定される区域（着色あり）を示しています。
- ・マップに示す「浸水深の目安」と照らし合わせて、何階まで浸水するおそれがあるか、確認しましょう。

5.0m以上	(3階床上浸水以上)
3.0m以上 5.0m未満	(2階床上浸水)
0.5m以上 3.0m未満	(1階床上浸水)
0.5m未満	(1階床下浸水程度)



### ステップ2

## どこへ避難すれば良いでしょうか。

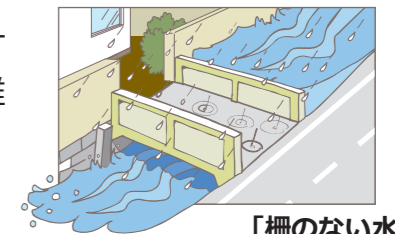
- ・避難行動には、大きく3通りあります。
  - ① マップに載っている避難場所等への避難
  - ② 近隣の安全な場所や建物への避難
  - ③ 屋内での安全確保
- ・状況に応じた避難行動をとれるよう、想定しておきましょう。



### ステップ3

## 避難する経路に危ないところはありませんか。

- ・避難するときは、夜間や道路冠水などで路面の確認が十分に出来ないことも想定されますので、想定される避難経路に「柵のない水路」や「蓋のない側溝」、「段差」など、危ないところがないか、一度現地を確認しましょう。



### ステップ4

## 避難情報や避難のタイミングを知っておきましょう。

- ・大雨や台風情報、または避難訓練など、機会があるごとにマップを見直すことで、いざというときに慌てないよう備えましょう。



次ページ以降では、理解を高めることでよりの確な避難行動につながる関連情報について、詳しく解説しています。

## 避難の心得

1. 自分の命は自分でまもる
2. 自分の判断で早めの避難
3. みんなで避難（一人で避難しない）

## 富山市で起きた水害の記録

### ● 平成16年の台風23号にともなう豪雨



神明地区の浸水状況

神通川と井田川の合流部付近などで浸水被害（床上浸水 267 軒、床下浸水 338 軒）が発生しました。

### ● 昭和44年7月～8月の豪雨



富山大橋が被災

水橋地区の浸水状況

増水した白岩川

神通川の増水で富山大橋の橋脚が沈下し、30日間不通となりました。

常願寺川などのはん濫により、床上浸水628軒（ほとんどが水橋地区）などの浸水被害が発生しました。

参考文献 富山市史編修委員会『富山市史』

# 洪水ハザードマップを知ろう

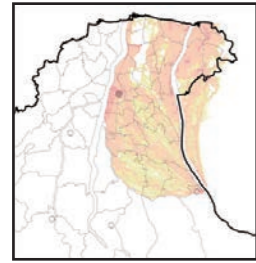
大規模な河川のはん濫の危険がせまったとき、みなさんに安全に避難していただくため、河川のはん濫により浸水が想定される区域（洪水浸水想定区域）に加えて、避難情報や防災情報を表示しています。

## 洪水浸水想定区域

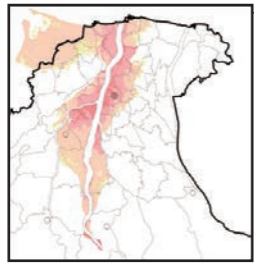
マップでは、河川のはん濫により浸水が想定される場所を深さで色分けして表示された河川ごとの洪水浸水想定区域図を重ね合わせて、最大の浸水深さの区分を表示しています。

雨の降り方によっては、着色が無い場所でも浸水することもありますので、ご注意ください。

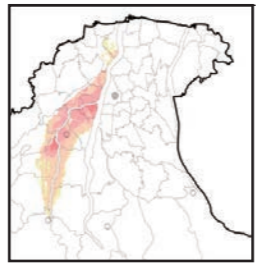
常願寺川の区域



神通川の区域

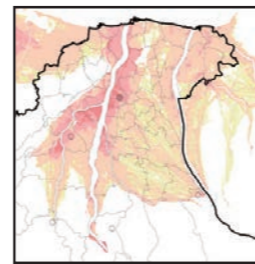


井田川の区域



合計 14 河川の区域

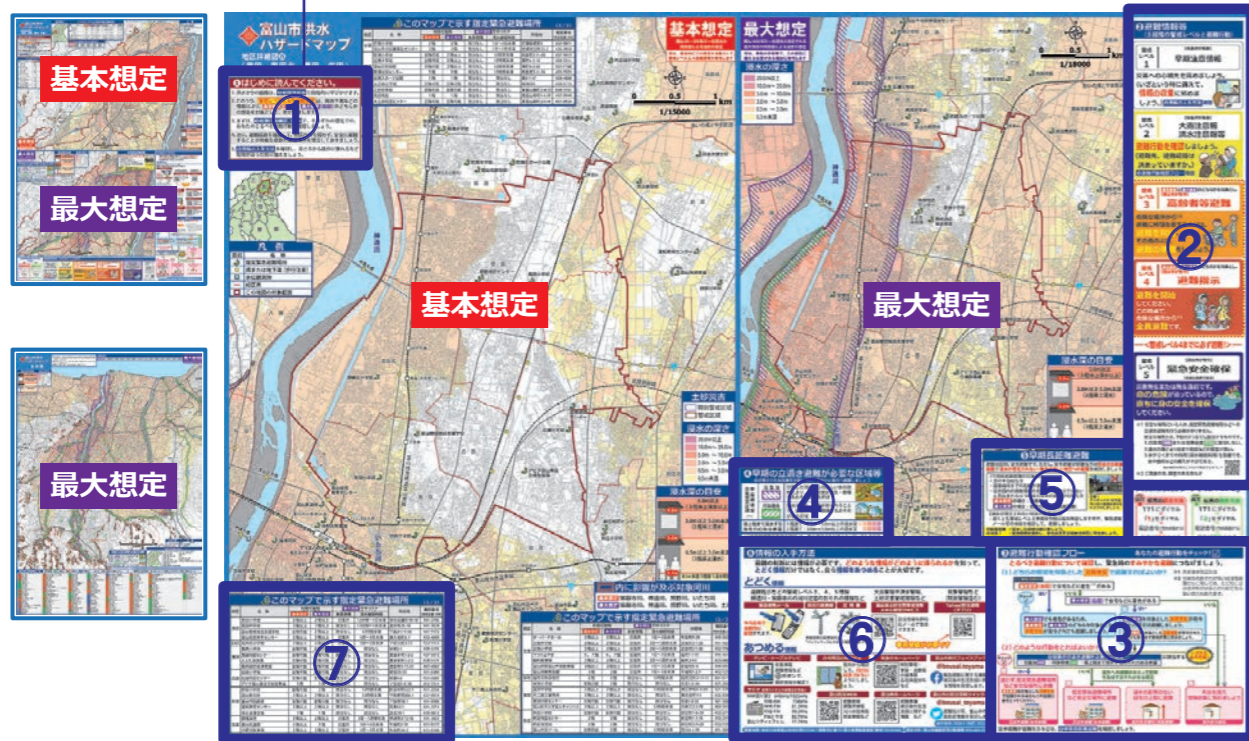
洪水ハザードマップ



## 地図の種類

洪水浸水想定区域全域を示した【全体図】と避難行動確認のための【地区詳細図】で構成しており、地区詳細図では、**基本想定** と **最大想定** の2つの洪水浸水想定を表示しています。

また、河川ごとの影響を確認されたい方は、富山市ホームページにて【河川別図】をご確認ください。



※地区詳細図は、地区により「縦型」と「横型」があります。

## 洪水ハザードマップの各項目についての説明

➤ ①はじめに読んでください。

『どこから見れば良いか』の手順を示す、マップの取扱説明書にあたる部分です。

②避難情報等（5段階の警戒レベルと避難行動）

危険度に応じて発表・発令される避難情報等と、そのときにとるべき行動を5段階で表示したものです。

③避難行動確認フロー

避難情報が発令された場合、それぞれの洪水浸水想定に応じて『どのような避難行動をとれば良いか』、あらかじめ確認しておくことで、緊急時の速やかな避難につなげましょう。

④早期の立退き避難が必要な区域等

ここで示す区域等に該当する方は、河川のはん濫が起きたときに命が脅かされる危険性が高いので、避難指示等の避難情報が発令された場合は、**迷わず速やかに屋外へ避難**しましょう。

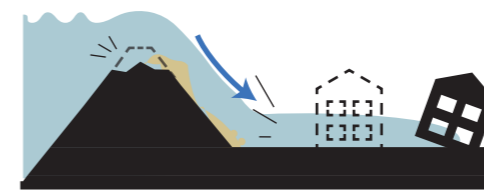
●家屋倒壊等はん濫想定区域（**最大想定**のみ対象として示される「**はん濫流**」と「**河岸侵食**」の2つの区域）

○はん濫流

はん濫した河川からの激しい水の流れにより、木造家屋※が流失・倒壊するおそれがあります。



地図凡例



※倒壊等のおそれが低い頑強な高層の建物に関しては、ただちに立退き避難が必要との判断にならない場合もあります。

○河岸侵食

洪水により、地盤が削られることで、家屋が流失・倒壊するおそれがあります。



地図凡例



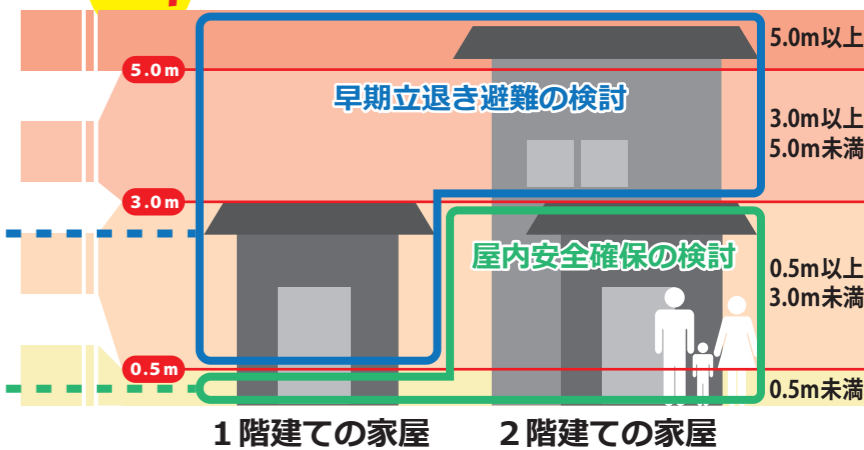
●最上階まで浸水するおそれのある家屋

目安として、浸水深が 0.5m以上で1階建て、3m以上で2階建て、5m以上で3階建ての最上階が浸水するおそれがあります。

速やかに**屋外へ避難**してください。  
1階建て：0.5m以上  
2階建て：3.0m以上

状況によっては、**屋内での安全確保**も検討しましょう。  
1階建て：0.5m未満  
2階建て：3.0m未満

ステップ1 下の色合いとマップを重ねて確認ください。



⑤早期長距離避難

足の不自由な方、避難場所までの距離が遠い方、避難場所の収容能力が十分ではないと見込まれる校区の方に対して、早めの避難開始をお願いするものです。

徒歩避難が困難な方々の避難方法のひとつとなる自動車避難をする場合は、その危険性を理解し、早めに避難を始め、浸水が想定されない安全な場所へ避難しましょう。（➡ 8ページ）

⑥、⑦は次ページ

巻末クイズ第1問の答え（3.0m以上）  
命が脅かされる危険性が高いため、屋外への避難が必要です。

## ⑥情報の入手方法（とどく情報とあつめる情報）

避難行動をいつ起こすかは、得られる情報をもとに状況を把握して判断する必要があります。どのような情報がどのように得られるのかを知っておきましょう。

「あつめる情報」は、緊急時に慌てることのないよう、普段から触れて慣れておきましょう。



## ⑦指定緊急避難場所



河川のはん濫から命を守るために緊急的に避難するための施設または場所です。早期の長距離避難に対応するため、浸水が想定されない地区にも開設します。

状況に応じて順次開設されますが、状況によっては開設されない避難場所もありますので、そのときに得られる情報を確認して避難しましょう。

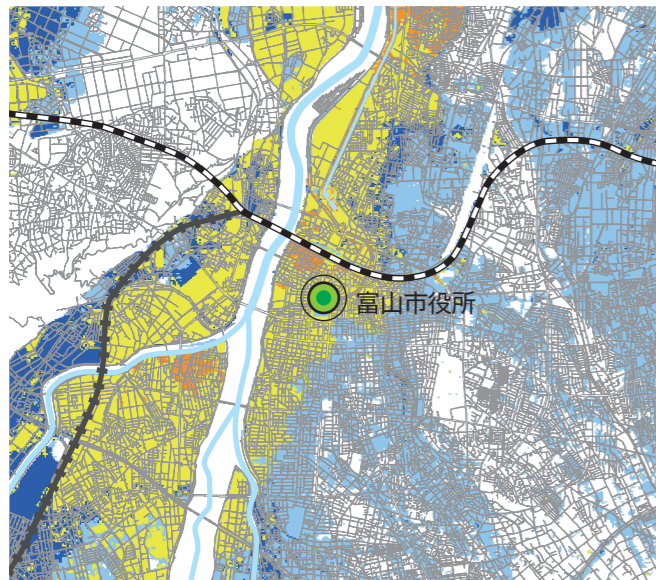
一覧にて、それぞれの想定における利用可能階などのリスク情報を表示しています。

校区	名称	利用可能階		最大想定でのリスク		所在地	電話番号 (市外局番+076)
		基本想定	最大想定	家屋倒壊	浸水継続時間		
奥田	奥田小学校	2階以上	2階以上	氾濫流	12時間～1日未満	奥田双葉町10-18	441-3746
	奥田中学校	2階以上	2階以上	該当なし	12時間～1日未満	奥井町25-10	441-3628
	富山聴覚総合支援学校	全階可能	2階以上	該当なし	12時間未満	下奥井1-9-56	441-9172
	富山県民共生センター	2階以上	2階以上	氾濫流	1日～3日未満	湊入船町6-7	432-4500

地区詳細図⑧の避難場所の抜粋

## ！ 浸水継続時間

**最大想定** による洪水において、浸水の深さが50cmを超えてから50cmを下回るまでの通算時間を一定の条件のもと計算されたもので、避難場所の選定、もしくは自宅待機などの判断材料となる情報です。



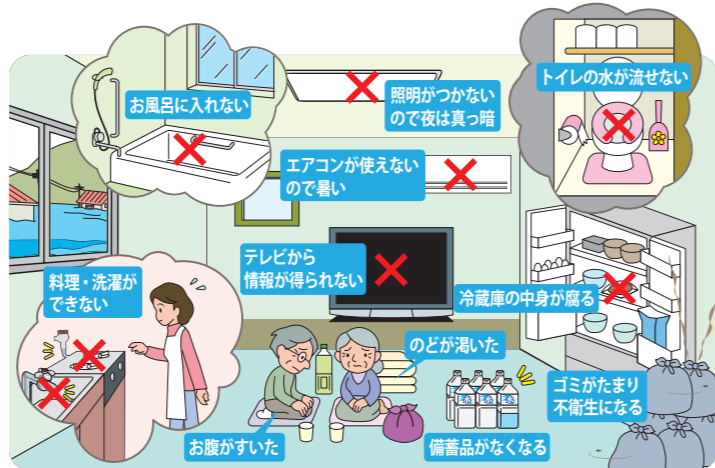
- 3日～1週間未満
- 1日～3日未満
- 12時間～1日未満
- 12時間未満

富山市ホームページに【全体図】を掲載しますので、自宅周辺を確認してみましょう。



富山市 洪水ハザードマップ

自宅にとどまり、停電や断水が発生した場合に、**浸水が長期に及ぶと、命の危険につながることも！**



## 2つの洪水浸水想定について（基本想定と最大想定）

### 基本想定

河川整備において基本となる降雨（計画規模※1）を対象とした洪水浸水想定区域を、市では **基本想定** と呼び、比較的発生頻度の高い降雨に対応しています。

※1：河川管理者が河川ごとに流域の大きさなどを考慮して定めているもので、市に影響のある対象河川の年超過確率は1/30（坪野川）～1/150（常願寺川、神通川、西派川）となっています。

### 最大想定

多発している豪雨被害への対応を図るため、**観測された最大降雨量**をもとに設定される想定し得る最大規模の降雨（**想定最大規模**※2）を対象とした洪水浸水想定区域を、市では **最大想定** と呼び、予想される総雨量などの事前情報をもとに、計画規模を超え想定最大規模の降雨に備える必要があると考える場合に対応するものです。

※2：一般的に年超過確率は1/1000程度とされています。

年超過確率とは・・・

毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率のことで、年超過確率が1/50の降雨であれば1年間にその規模を超える降雨が発生する確率は2.0%となります。

（「50年に1度程度起こる降雨」と示されることがあるもので、マップでもこの表現を用いています。ただし、50年周期で定期的には発生するものではないので、ご注意ください。）

## ！ 対象河川ごとに設定される総雨量について

各河川の位置は13ページで確認ください。

管理者	水系	河川名	計画規模の総雨量 (基本想定 の対象)	想定最大規模の総雨量 (最大想定 の対象)
国土交通省	庄川	庄川	2日間の総雨量368mm (1/150) (市内に影響なし)	48時間の総雨量655mm
国土交通省	常願寺川	常願寺川	2日間の総雨量498mm (1/150)	48時間の総雨量776mm
国土交通省	神通川	神通川	2日間の総雨量264mm (1/150)	48時間の総雨量537mm
国土交通省	神通川	西派川	2日間の総雨量264mm (1/150)	48時間の総雨量537mm
国土交通省	神通川	井田川	2日間の総雨量254mm (1/100)	48時間の総雨量753mm
国土交通省	神通川	熊野川(下流※)	2日間の総雨量276mm (1/100)	48時間の総雨量872mm
富山県	神通川	熊野川(上流※)	24時間の総雨量232mm (1/50)	24時間の総雨量730.8mm
富山県	神通川	いたち川	24時間の総雨量207.9mm (1/50)	24時間の総雨量813mm
富山県	神通川	土川	24時間の総雨量161.1mmを基準 (大正3年8月:ピーク流量130m <sup>3</sup> /s)	24時間の総雨量813mm
富山県	神通川	山田川	24時間の総雨量237mm (1/50)	24時間の総雨量733.7mm
富山県	神通川	坪野川	24時間の総雨量177.3mm (1/30)	24時間の総雨量813mm
富山県	上市川	上市川	24時間の総雨量273.8mm (1/50)	24時間の総雨量758mm
富山県	白岩川	白岩川	24時間の総雨量233mm (1/50)	24時間の総雨量723mm
富山県	白岩川	大岩川	24時間の総雨量187mm (1/50) (市内に影響なし)	24時間の総雨量813mm
富山県	白岩川	栃津川	24時間の総雨量166.1mm (1/50)	24時間の総雨量807mm

※熊野橋上流が富山県管理、下流が国土交通省管理

(参考) 観測史上、神通川でもっとも高い水位を計測した平成16年台風23号(10/19～10/21)の雨量  
 岐阜県高山観測所：276mm/48h, 256.5mm/24h  
 富山県猪谷観測所：208mm/48h, 191mm/24h、富山観測所(石坂)：116.5mm/48h, 106.5mm/24h

# どう避難する？

洪水による避難では、居住される場所やその時々状況によっていくつかの行動パターンがあります。  
事前に考えておくことが、いざというときの円滑な避難につながります。



自分の命は自分で守るという意識をもって、自分の判断で行動することがポイント！



## ！ 早期長距離避難

市内には、河川のはん濫により重大な損害が及ぶおそれのある大規模な河川が多数あり、徒歩圏内の指定緊急避難場所への避難では収容能力が十分ではないと見込まれる校区が複数存在します。

マップの【⑤早期長距離避難】に示す【早期長距離避難の対象者】を確認して、可能な方は早い段階での避難開始による長距離避難を検討しましょう。

## 本市における危険度に応じた避難行動

### 避難行動 1 指定緊急避難場所等 への立退き避難

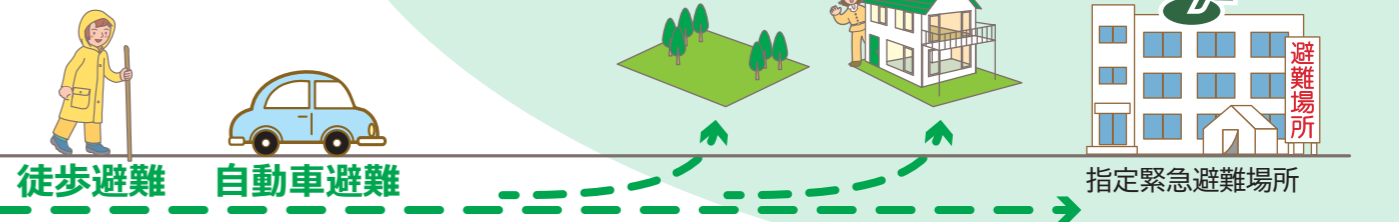
- ・マップに着色がある方の**基本的な避難行動**です。
- ・早い段階での避難が可能な方は、浸水が想定されない安全な場所へ避難しましょう。



### 早期長距離避難

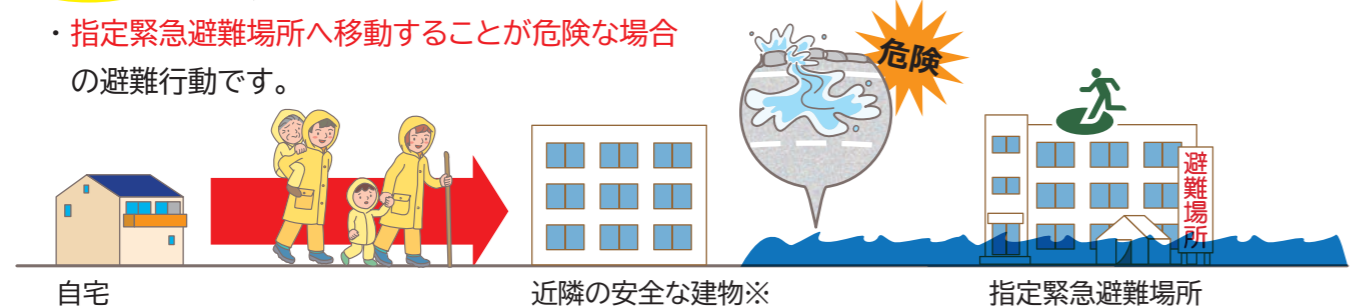
【対象者】

- ・足の不自由な方
  - ・避難場所まで遠い方
  - ・収容能力が十分ではないと見込まれる校区の方
- (マップで確認！)



### 避難行動 2 近隣の安全な場所や建物 への立退き避難

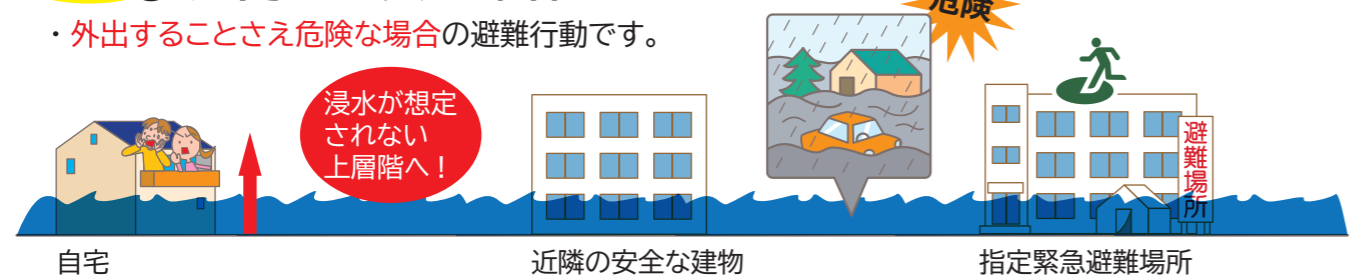
- ・指定緊急避難場所へ移動することが危険な場合の避難行動です。



※ 高齢者が多い地域などで、避難行動が遅れた場合に備えて、自主防災組織などが地域内の比較的的安全な施設を自主的に避難先に設定することも考えられます。

### 避難行動 3 屋内での安全確保 (建物内での垂直避難)

- ・外出することさえ危険な場合の避難行動です。



(注) 早期の立退きが必要な区域に該当する方、もしくは最上階が浸水のおそれのある方は、この避難行動では安全の確保ができないことから、早めに立退き避難をしましょう。

- 危険**
- ・夜間や豪雨による視界不良・自宅周りの浸水
  - ・要配慮者（高齢者、障害者など）のみ在宅時
  - ・内水はん濫（柵のない水路、蓋のない側溝など）の危険性 など
- そのときの状況により、自分で判断して適切な避難行動をとる必要があります。

## ！ 自動車避難について

- ・避難の原則は、『徒歩避難』であることをまず知っておきましょう。だれもが自動車避難をすると下記の渋滞発生危険性が高まることにつながります。
- ・対象は、足の不自由な方や避難場所までの距離が遠く徒歩避難が困難な方、避難場所の収容能力が十分ではないと見込まれる校区の早期避難が可能な方です。危険性を知り、早めに避難開始しましょう。

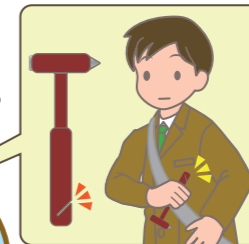
### 【自動車避難の危険性】

- ・浸水したアンダーパスで動けなくなる
- ・渋滞が発生して避難場所までたどり着けない
- ・川沿いの道路が崩れて川に転落する
- ・緊急車両の通行の妨げとなってしまう

### 【浸水が始まるとどうなる？】

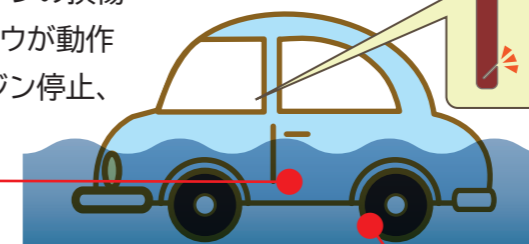
★浸水が床面を超えたら、もう危険です  
電気系統やエンジンの損傷  
→ドア、ウィンドウが動作しない、エンジン停止、再始動しない

脱出用ハンマーのカッター部分でシートベルトを切る



- 水深がドアの半分を超えると内側から開けられなくなるおそれ  
→脱出用ハンマーで窓ガラスを割る  
→内外の水圧差がない状態でドアを開ける

- タイヤが水没すると車体が浮いて移動が困難になるおそれ



### 【避難の際に注意すべきこと】

1. アンダーパスや川沿い道路は通らない
2. 道路冠水に注意  
濁った冠水に安易に進入しない
3. 緊急車両の通行を優先する
4. 徒歩避難者に注意
5. 浸水、トラブルなどで車を放置する際は路肩へ寄せる
6. ラジオで情報収集

詳しくは、「国土交通省道路局HP」を確認ください。

国交省 冠水不具合



# いつ避難する？



緊急時の対策は、情報収集から始まります。洪水からの避難は、信頼できる情報を集めて正しく読み取る  
ことにより、状況に応じた適切な避難行動とそのタイミングを判断することが可能となります。

避難指示（警戒レベル4）で全員避難！  
その前でも危険を感じたら自分の判断で早めの避難！ってことだね。



< 防災気象情報 >

警戒レベル相当情報 住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報として、国土交通省、気象庁、富山県が発表するもの

発表	警戒レベル1	発表	警戒レベル2	発令	警戒レベル3	発令	警戒レベル4	警戒レベル5	
<p><b>早期注意情報</b> (気象庁が発表)</p> <p>災害への心構えを高めて <b>情報収集</b> に努めましょう</p> <p><b>あつめる情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●富山防災WEB 避難情報 避難所情報 河川水位情報 雨量情報など</li> <li>●気象庁 ホームページ 特別警報 警報・注意報 各危険度分布など</li> <li>●富山市 ホームページ 避難情報 被災後の生活支援 に関する情報など</li> </ul> <p>屋内から確認して、<b>河川には近づかない</b> ようにしましょう</p>	<p><b>大雨注意報</b> <b>洪水注意報</b> (気象庁が発表)</p> <p>避難行動を確認しましょう</p> <p>ハザードマップを再確認！</p> <p>【はん濫注意水位】に到達（レベル2相当）</p>	<p>警戒レベル3相当 氾濫警戒情報、洪水警報等</p> <p><b>★高齢者等避難</b> (富山市が発令)</p> <p>危険な場所から<sup>※1</sup>避難に時間を要する人<sup>※2</sup>は、<b>避難を開始</b>。その他の人は、<b>避難の準備</b>をしましょう。</p> <p>対象地区の避難場所に加えて、長距離避難における避難先として、<b>浸水が想定されない地区の避難場所も順次開設</b>します。</p> <p>【避難判断水位】に到達、かつ、【はん濫危険水位】への到達が予測される場合</p>	<p>警戒レベル4相当 氾濫危険情報、土砂災害警戒情報等</p> <p><b>★避難指示</b> (富山市が発令)</p> <p><b>避難を開始</b>してください。この時点で、危険な場所から<sup>※1</sup><b>全員避難</b>です。</p> <p>【はん濫危険水位】に到達した場合</p>	<p>警戒レベル5相当 氾濫発生情報、大雨特別警報等</p> <p><b>緊急安全確保</b> (富山市が発令)</p> <p>災害発生または発生直前です。<b>命の危険が迫っている</b>ので、<b>直ちに身の安全を確保</b>してください。</p> <p>可能な範囲で発令</p> <p>たとえば、堤防決壊によるはん濫発生</p>	<p>※1 安全な場所にいる人は、指定緊急避難場所などへの立退き避難を行う必要はありません。安全な場所とは、下記の3つ全てに該当するものです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない。</li> <li>2.浸水の深さより自宅や施設などの居室が高い。</li> <li>3.水がひくまでの時間(浸水継続時間)を我慢でき、水や食料などの備えが十分である。</li> </ol> <p>※2 ご高齢の方、障害のある方など</p> <p>浸水継続時間はこちらから確認できます。→</p>				
<p><b>水位情報</b></p>				<p><b>早期長距離避難の開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩、自動車いずれの手段での避難においても、渋滞や事故などによる逃げ遅れの懸念もあることから、<b>早い段階で避難を開始</b>する必要があります。</li> <li>・長距離避難には、時間がかかることも想定されますので、<b>遅くとも高齢者等避難（警戒レベル3）が発令された段階で避難開始</b>しましょう。</li> <li>・避難指示（警戒レベル4）が発令された後に避難を開始される方は、<b>安全に避難可能な避難場所へ徒歩避難</b>しましょう。</li> </ul>				<p><b>【重要】避難のタイミング！</b></p> <p>① <b>★マークのついた2つの情報</b></p> <p>市は、★マークの2つの避難情報を、<b>基本想定</b> もしくは <b>最大想定</b> のどちらかを対象として、対象河川の影響が及ぶ小学校区に発令します。</p> <p>どちらの想定の場合に避難する必要（着色）があるか、マップの地区詳細図をみて確認しておきましょう。</p> <p>② <b>避難の必要を感じたとき</b></p> <p>自宅周辺の状況や家庭の都合などにより、★情報発令前に<b>避難の必要を感じた方は、★情報を待たずに迷わず『自主避難』</b>しましょう。この場合、避難場所は開設されておらず、その後も開設されないことも考えられるため、<b>安全と思われる親類・友人宅、もしくは浸水が想定されない場所まで避難</b>しましょう。</p>	
<p><b>とどく情報</b></p> <p>避難指示などの警戒レベル3、4、5情報 神通川・常願寺川の河川はん濫のおそれの情報など</p> <p>緊急速報メール 防災行政無線 広報車</p>				<p>気象警報など(特別警報含む) Yahoo!防災速報(アプリ)</p> <p>大雨警報や洪水警報、土砂災害警戒情報など 富山県土砂災害警戒情報メール配信サービス</p> <p>該当情報を即時にメールで受信できます。</p> <p>事前登録が必要です</p>					

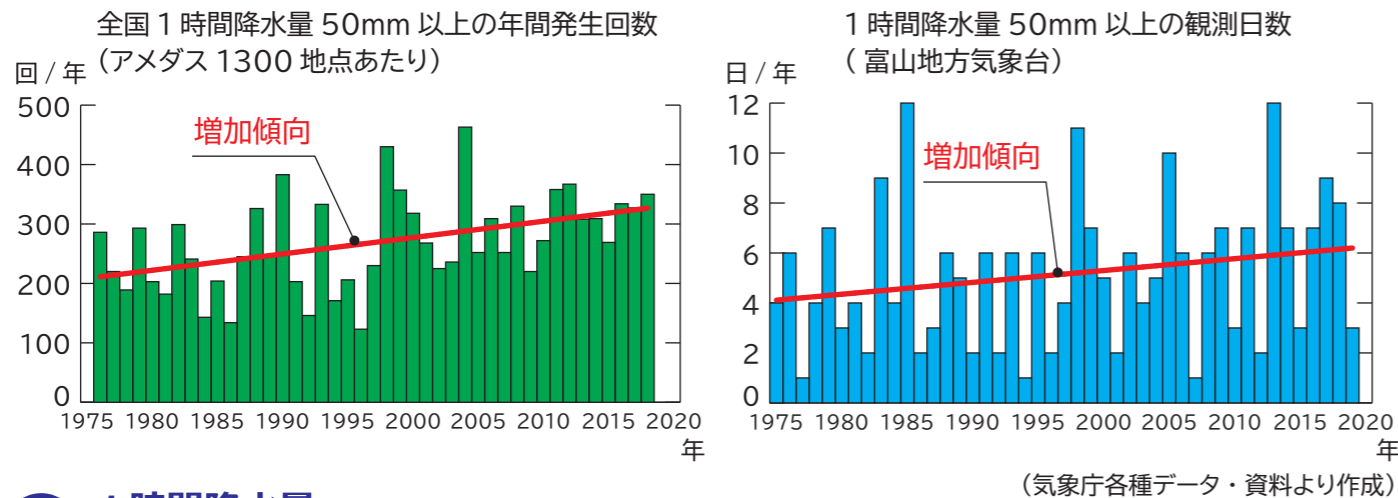
避難情報等ととるべき行動

いつ避難する？

# 洪水を知って避難しよう

## 近年では非常に激しい雨の降る回数が増えています。

地球温暖化などによる気候変動の影響だと考えられていて、今後も豪雨の発生は増加傾向です。



### 1時間降水量を意識する

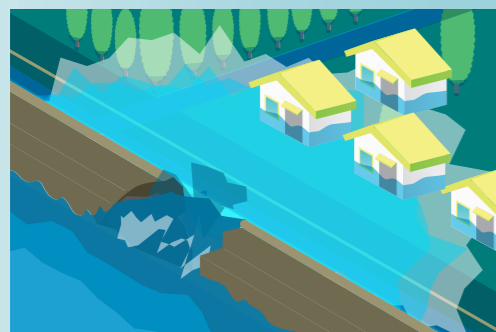
適切なタイミングで避難行動を行えるよう、あらかじめ気象情報や避難情報に注意して心構えをしておきましょう。



1時間降水量が30mmを超えると道路が川のようなこともあります。50mmでは滝のような雨となり傘も役に立ちません。このような雨の中を避難するのはかえって危険な場合もありますので、無理をせず屋内での安全確保も検討しましょう。

### はん濫の形は2つの種類があります

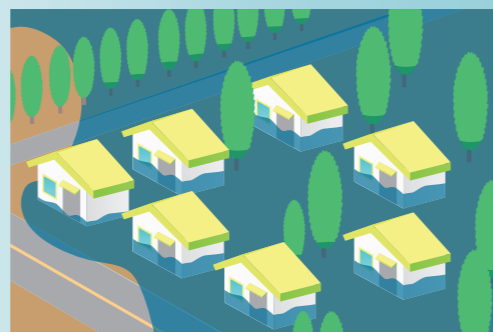
#### 洪水(外水はん濫)は、命にかかわる災害



台風や停滞する前線の影響など、広い範囲でまとまって降った雨が河川に流れ込むことで、河川が増水し、激しい流れとなって下流へ押し寄せます。そして、堤防を削って決壊させたり、乗り越えたりして、洪水(外水はん濫)が発生します。早期の立退き避難が必要な区域等に該当する方は、速やかに立退き避難しましょう。(4ページ参照)

洪水ハザードマップの対象はこちら!

#### 内水はん濫は、避難するときの危険



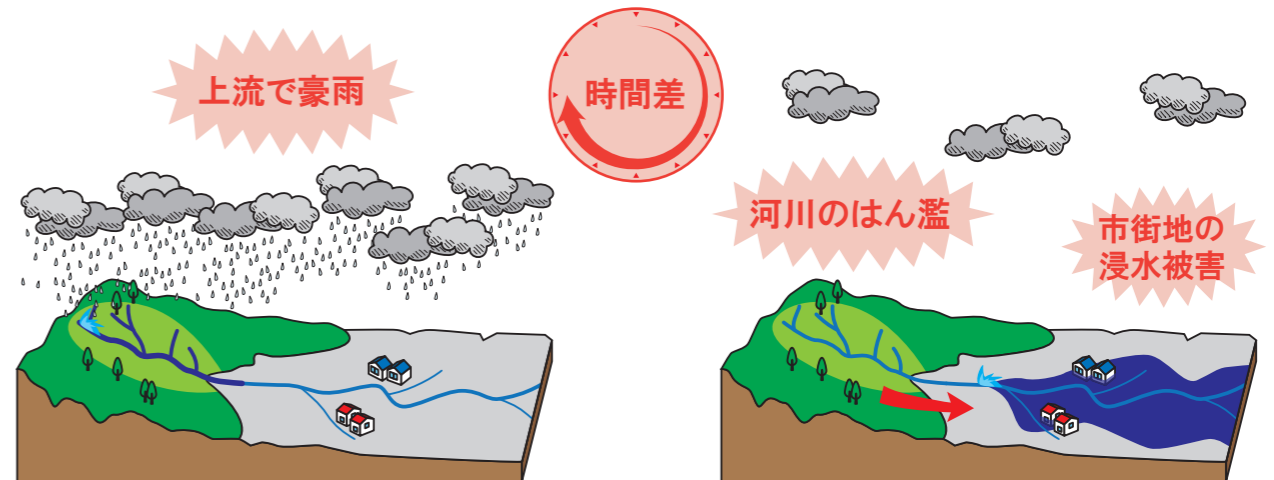
大雨や排水先の河川水位の上昇により街なかで降った雨が排水しきれない場合に内水はん濫が発生します。洪水から避難する際、すでに内水はん濫により、路面がしっかり確認できず安全な避難が困難な場合があります。平時に危険箇所を確認しておきましょう。

避難のタイミングや避難経路の選択など、避難判断に役立つ情報だね。



### 洪水は、大雨のピークで発生するとは限りません。時間差のある水位上昇に注意!

神通川では、上流部(岐阜県)で降った雨が中流部、下流部(市街地)へと伝わるのに時間がかかることから、下流部では雨のピークを過ぎて安心した頃に、一気に水位が上昇して、はん濫ということもありますので、情報収集に努め、注意しましょう。



### 降水量が増加すると、土砂災害のリスクも高まります! 洪水からの避難でも注意!

土砂災害は、洪水と同じく「降雨」を原因として発生することがある災害として、警戒が必要な箇所をマップに掲載しています。該当区域にお住まいの方は、土砂災害警戒情報にも十分注意しましょう。

洪水からの避難の際は、土砂災害の危険性が高い区域を極力通らず避難するよう安全に配慮しましょう。

#### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害によって、建物に損壊が生じ、命または身体に著しい危害が生じるおそれがあります

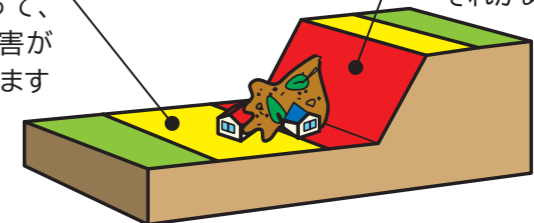
#### マップでの凡例

#### 土砂災害

- 特別警戒区域
- 警戒区域

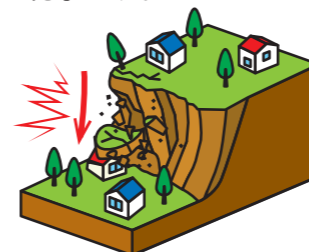
#### 土砂災害警戒区域

土砂災害によって、命または身体に危害が生じるおそれがあります



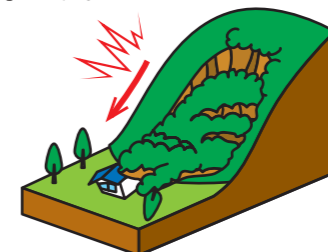
#### ● かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

大雨などの影響で地盤が安定性を失い、突発的に斜面が崩壊する現象です。



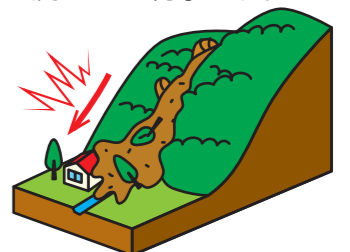
#### ● 地すべり

地下水などの影響で斜面がすべり、下方へ大きく移動する現象です。



#### ● 土石流

山腹や川底の石や土砂が、大雨などにより一気に下流へ押し流される現象です。



洪水ハザードマップでは上記3つの現象を区分せず掲載しています。詳しくは、「富山市土砂災害ハザードマップ」にてご確認ください。

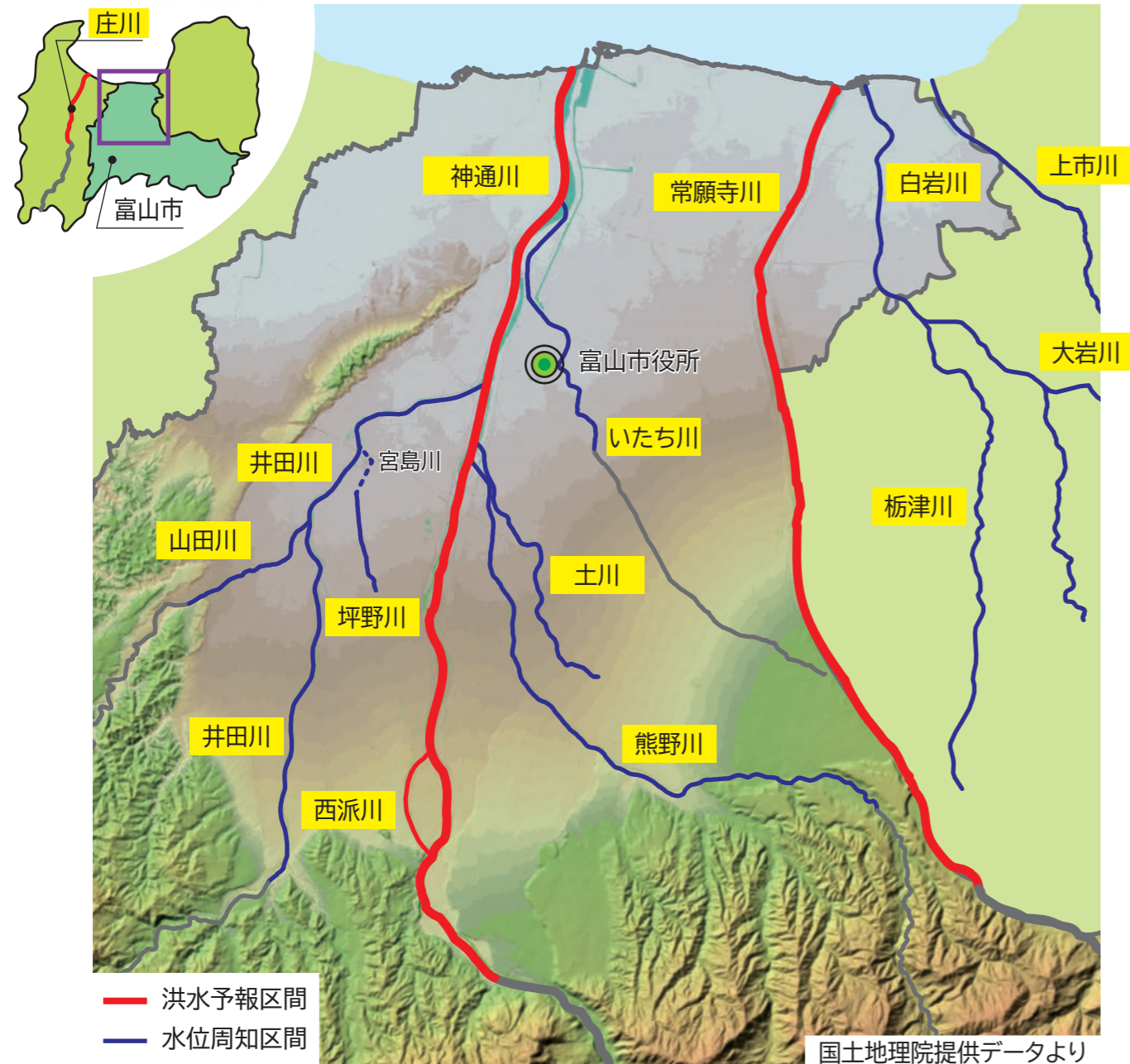
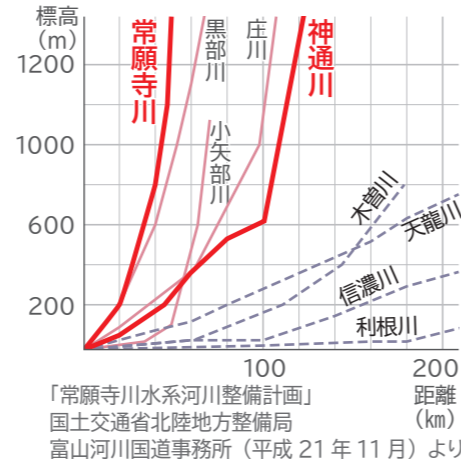
洪水を知って避難しよう

# 地形を知って避難しよう

市内には、洪水で重大な被害が生じるおそれのある河川が多く流れています。特に、国内屈指の急流河川（右図参照）とされる常願寺川と神通川は、非常に大きな洪水エネルギーを持つおそれがあります。

富山市街の多くは広大な扇状地になっており、常願寺川のはん濫※では広く浅い浸水の傾向があり、市の中心部まで影響が及ぶことが想定されています。流れの早い洪水が迫ってきますので、状況に応じた適切な避難行動をとりましょう。

一方、神通川のはん濫※では河川沿いの狭い範囲で深く浸水する傾向がありますので、速やかに安全な避難場所などへの立退き避難を行いましょう。



※ 常願寺川および神通川のはん濫イメージ  
国土交通省所管の河川については、国土交通省が公開するサイト『浸水ナビ』にて、浸水が広がるイメージを確認することができます。

# 避難するときの心得

1. 自分の命は自分でまもる
2. 自分の判断で早めの避難
3. みんなで避難（一人で避難しない）



- ！ 動きやすい服装で**
  - ・荷物はリュックサックに入れて両手を自由に。
  - ・ひもでしっかり締められる運動靴をはく。
  - ・長靴は中に水が入るため危険なので使用しない。
  - ・傘は使わず雨合羽を着て両手を空ける。
- ！ 移動の際は危険を避ける**
  - ・先導する人は、長い棒や傘で足元を確認。
  - ・マンホールや側溝、水路、くぼみ、障害物などに注意。
  - ・地下道や道の端側を歩かないようにしましょう。
  - ・切れた電線などには近づかない。
  - ・水位の高い橋はできるだけ避けましょう。
- ！ 地下施設は危険**
  - ・地下にいると外の状況がわからない。
  - ・地下空間は冠水や停電の危険性が高い。
  - ・照明やエレベーターなどは機能しない。
  - ・水が一気に流れ込むため逆らって避難するのは非常に困難。

## 要配慮者への心遣い

- ！ 高齢者や傷病人、子ども**
  - 安全な場所まで手をひいたり背負ったりして避難する。
- ！ 目や耳の不自由な方**
  - 声をかけて情報伝達。
  - 先導する際は杖を持つ手の反対側に寄り添ってゆっくりと歩く。
- ！ 肢体の不自由な方（車椅子）**
  - 複数人数で対応する。ひとりで対応するときは背負って避難。
  - 階段の上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動する。
- ！ 耳の不自由な方**
  - 話しかけるときは口をハッキリと開けて、相手にわかりやすく見えるように。
  - 筆談などを活用する。

**ヘルプマークを身につけた方**  
外見でわからなくても、災害時には支援が必要なことを示すマークです。避難の際は配慮をお願いします。

ヘルプマークについて

富山市 ヘルプマーク



巻末クイズ第3問の答え（b. 運動靴）  
やむを得ず、浸水の中を歩いて避難する際など、長靴やサンダルでは危険です。

巻末クイズ第5問 行動しやすいようにひとりで避難するのは間違い！  
単独での避難は、不測の事態にあつたときに危険です。ご近所に声かけるなど、2人以上で避難しましょう。



# 備えましょう

## 非常持ち出し品

すばやく安全に避難するために、**家族構成や体質、持病などを考慮してすぐに持ち出すべき必要最小限の備え**を用意してリュックサックなどに詰め、玄関の近くなど持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。



## 備蓄品

災害のあとの数日間は、物流が止まって普段のような買い物ができないおそれがあります。自宅に留まることになる場合にも備えて、**最低3日間程度**はしのげるよう、浸水の影響を受けにくい場所でしっかり備蓄しておくことで安心です。

### 備蓄品チェックリスト(例)

分類	項目	✓	分類	項目	✓	項目	✓
食料品	レトルト食品 (ごはん・おかゆ等)		生活用品	トイレ用品 (トイレットペーパー、簡易トイレ等)			
	インスタントラーメン			汚物保管用の容器			
	カップのみそ汁			給水用ポリタンク			
	乾パン			水不要のシャンプー			
	缶づめ			寝袋			
	栄養補助食品			ティッシュペーパー			
	菓子類(飴など)			ウェットティッシュ			
	飲料水			ビニール袋			
				缶切り			
				紙皿・紙コップ			
		カセットコンロ					
		包装用ラップ					
		ランタン					

上記はあくまで一例です。各家庭の事情に合わせ、必要なものをリストアップしておきましょう。

### 備蓄量の目安

- 飲料水 大人一人あたり1日2～3リットル
- トイレ用品 一人1日5回分
- 生活用水 飲料水とは別に、ポリタンクや風呂に水を溜めておく

### ライフスタイルに備蓄を取り入れる(ローリングストック法)

ローリングストック法とは、普段は利用しない非常用食品などをわざわざ蓄えるのではなく、**日々消費しながら減った分を買い足して備蓄する**考え方です。賞味期限切れの問題やコスト面などにおいても有効な方法です。



## 自宅でできる浸水対策

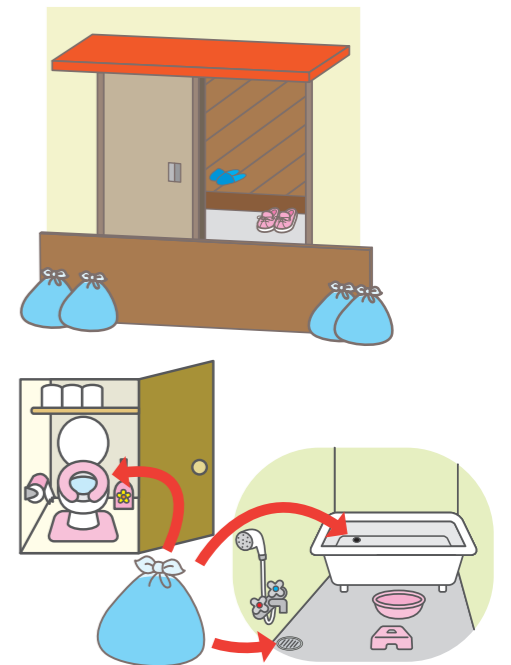
玄関や窓、半地下などの出入口に土のう袋や止水板を置くことで浸水被害を軽減することができます。一般家庭で土や砂などが用意できないときは、水を吸って固まる簡易土のう袋などが市販されているほか、身近な材料で簡易水のうなどを手作りして代用することも可能です。

### 簡易水のうを用いた対策

45リットル程度のごみ袋を2枚重ねにして半分くらいまで水を入れ、空気を押し出して袋の口をねじってしぼると、簡易水のうのできあがり。

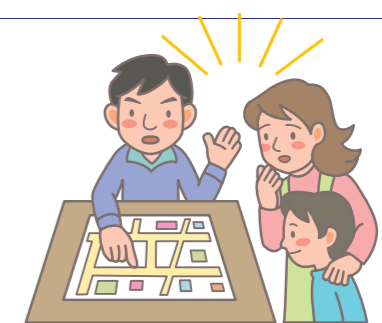
大雨で下水が逆流すると、**トイレ**や浴室、浴槽、洗濯機などの**排水溝**から水が噴き上がることがあります。簡易水のうを**便器の中**へ入れておいたり、**排水溝の上**に置いておくことで対策になります。

その他にも、家財の被害を軽減するために、高価な家電製品や思い出のアルバムなどは**できるだけ高い場所**へ、自家用車は早めに安全な場所へ移動させておくことも大切です。



## 避難計画を考えよう

家族で洪水からの避難について話し合みましょう。非常持ち出し品の保管場所や状況に応じた避難先、避難経路などを家族全員で共有しましょう。安全に避難場所まで行けるよう裏表紙の内側にある、**わが家の避難地図**を描いてみましょう。



## ペットの飼い主の方は

ペット用の避難用品や備蓄品を確保しておきましょう。洪水浸水想定区域内の**指定緊急避難場所**は、**命を守るため緊急に避難する場所**として建物内の利用が前提となりますので、あらかじめ**浸水が想定されない地区(避難場所は、遅くとも高齢者等避難(警戒レベル3)で順次開設)もしくは親類・友人宅などへの避難**を想定しておきましょう。



## 防災関連動画

河川の洪水危険度をリアルタイムで予測 危険度分布(内閣府)

洪水警報の危険度分布を避難開始の判断に役立てるためのポイントをまとめられたものです。



政府インターネットテレビより

政府インターネットテレビ 危険度 🔍

洪水から身を守るには ~命を守るための3つのポイント~ (国土交通省)

子供たちが水害がおきた時の危ない場面を知って、命を守るための行動と普段からの備えについて学べるものです。

防災教育ポータル 🔍

# 地域をまもろう



## 自助、そして共助

公助（防災機関による対応）には限界があります。

わたしたちの地域に起こる浸水から大切な命をまもるために、まずは**自助（自分の命は自分でまもる）**、そして**共助（自分たちの地域をみんなでまもる）**を意識することが大切です。

災害が起きたとき、誰かに頼りきりになって判断をゆだねるのではなく、自分たちの命を自分たちでまもるため、主体的に災害に備える姿勢を地域全体で共有しましょう。

## 共助を実現するために

地域の安全な避難を実現するためには、**地域主導の防災活動**が有効です。

たとえば、地域での**避難訓練**では、普段話す機会の少ない近所の方ともふれあいながら、避難経路を検討したり、1人暮らしの高齢者宅などへの声かけ意識の共有を図ることで、地域のみんで備えることにつながります。

## 自主防災組織

富山市 自主防災

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちでまもる」ために活動することを目的として結成する組織です。

そのうち、町内会単位で結成されるものでは、「**避難場所・避難経路の検討**、**避難誘導訓練**」や「**防災意識の普及・啓発**」などの役割を担うことが期待されます。

「共助」の代表である「自主防災組織」を結成することにより、地域防災力を高めるとともに、一人ひとりには開催される避難訓練へ積極的に参加するよう心がけましょう。



## 避難行動要支援者支援制度

富山市 要支援者

地域の支援を希望される方を**避難行動要支援者名簿**に登録し、避難支援等関係者（消防・警察、民生委員、自治会・町内会、自主防災組織）にその情報を提供して、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です。



## 要配慮者利用施設

富山市 洪水ハザードマップ

富山市地域防災計画に記載される要配慮者利用施設（社会福祉施設などの防災上の配慮を要する方が利用する施設）のうち洪水浸水想定区域に位置する施設については、水害時における利用者の安全を確保するための計画を作成し、避難訓練を実施する必要があります。

河川ごとの浸水影響については、富山市ホームページに掲載する【河川別図】をご確認ください。



## わが家の避難地図

自宅から避難場所までの安全な避難ルートを描いてみよう

【ポイント1】  
緊急時に見てわかるように！

避難場所 1
想定する状況
気をつけること・場所

①自宅、②避難場所、③安全なルート（出来れば複数）

【ポイント2】  
早めに避難できるときとそうでないときなど、状況に応じて安全に避難できるように複数の避難先を想定しておきましょう。

避難場所 2
想定する状況
気をつけること・場所

①自宅、②避難場所、③安全なルート（出来れば複数）

【想定する状況】  
避難情報が「基本想定」を対象としている場合／「最大想定」の場合  
自主避難を含め早い段階での避難が可能な場合／そうでない場合  
平日／夜間／休日 など

【気をつけること・場所】  
柵のない水路／蓋のない側溝  
低地／段差 など

## クイズにチャレンジ

答えは本編のどこかに必ずある！探してみよう！

第1問 状況によらず、2階建て家屋で立退き避難が必要な浸水深は何m以上？  
（ m以上）

第2問 「全員避難」を意味する、富山市が発令する避難情報とその警戒レベルは？  
（ , ）

第3問 次のうち、避難するときに適した履物は？  
a. 長靴 b. 運動靴 c. サンドル  
（ ）

第4問 非常持ち出し品のひとつ、「飲料水」の大人1人あたりの目安は？  
（ リットル）

第5問 次のうち、避難するときの正しい行動は？  
a. 行動しやすいようにひとりで避難する  
b. 身の危険を感じるので、市からの避難情報が発令される前に避難する  
c. 念のため、川のようなすを確認してから避難する  
（ ）

# ! 非常持ち出し品チェックリスト

分類	項目	✓	分類	項目	✓	分類	項目	✓
避難用具	懐中電灯 (予備電池も)		生活用品	携帯電話 (充電器・バッテリー)		衣類関係	衣類 (体温調節用として厚手、薄手のもの)	
	携帯ラジオ (予備電池も)			ナイフ			下着	
	ろうそく			缶切り			雨具	
	ライター・マッチ			毛布・タオル		その他	おくすり手帳	
	ロープ			寝袋			常備薬 (胃薬、かぜ薬など)	
	軍手・手袋			ティッシュペーパー			持病がある方の薬	
	棒・傘 (足元確認用)			ウェットティッシュ			下に敷くシート、新聞紙	
				ビニール袋			生理用品	
非常食	乾パン		携帯トイレ		おむつ・ミルク			
	缶づめ				ペット用の避難用品			
	栄養補助食品		貴重品	現金 (小銭も)		リュックサック		
	菓子類 (飴など)			通帳・印鑑		モバイルバッテリー		
	飲料水 (大人一人1日2~3リットル)			健康保険証・運転免許証				

## ! 緊急時の連絡先

家族、避難のときに声かけする近所の方、避難先となる親類や知人、勤め先など、いざというときの連絡先を考えて、メモしておきましょう。

関係性	氏名	住所	電話番号	関係性	氏名	住所	電話番号

## ! 緊急時の問い合わせ先

- 警察 110
- 消防・救急 119
- 停電のときは… 北陸電力送配電 0120-837119
- ガス漏れのときは… 日本海ガス 0570-024-099  
(プロパンガスについては最寄りの販売店へ)
- 断水、濁り水などのときは… 上下水道局 432-8570
- 電話の故障のときは… NTT 113  
(携帯・PHSからは 0120-444113)

## ! 災害用伝言ダイヤル

REC 録音 伝言の録音方法

171にダイヤル

「1」をダイヤル

電話番号(市外局番から)

伝言が録音される

PLAY 再生 伝言の再生方法

171にダイヤル

「2」をダイヤル

電話番号(市外局番から)

伝言が再生される

## ! 富山市の発行するその他のハザードマップ



◀ 富山市土砂災害ハザードマップ

富山市内水ハザードマップ ▶



◀ 富山市津波ハザードマップ

富山市地震防災マップ ▶



## ! 洪水ハザードマップに関する連絡先

富山市建設部河川整備課

TEL 076-443-2221